

高齢者等に優しいバス・乗合タクシー車両のあり方に関する調査事業の概要 (H19 年度調査結果)

1. 目的

バス・タクシーは、安全、確実、迅速、快適な輸送サービスを提供する本来的な役割を担っているとともに、住みやすい街を作り、渋滞緩和による道路の効率的利用、高齢化の進む地域社会の維持などの非常に重要な役割を担っている。

特に、今般、本格的な高齢社会を迎え、高齢者等移動制約者の円滑な移動手段としてバス・乗合タクシーの重要性が高まっている中、低コストで、高齢者等が乗降及び立着席しやすいなど、高齢者等に優しい車両が求められている状況である。

このような状況を踏まえ、本事業では、大型バス、中・小型・マイクロバス、連節バス、乗合タクシーなどの車両について、高齢者等にとって乗降及び立着席しやすい車両の具現化を図るため、高齢者等のニーズを把握するとともに、その実現に向けた課題を整理し、高齢者等に優しい車両の開発・普及を図ることを目的とする。

2. 調査結果（概要）

(1) バス・乗合タクシー車両におけるニーズ調査

① 国内の乗合タクシー、バス車両台数等の把握

- ・乗合バス事業者及び乗合タクシー事業者にアンケート調査を実施し、回答結果から H19.3 末時点の車両台数を推計

② 利用者ニーズの把握

(a) 利用者ヒアリング

- ・ 14 地域
- ・ 障害者（日本身体障害者連合会） 回答数：4

(b) 利用者アンケート

- ・ 社団法人千葉市老人クラブ連合会 回答数：65
- ・ 障害者（龍ヶ崎市、取手市） 回答数：8

③ 事業者ニーズの把握

(a) 事業者ヒアリング

- ・ 19 事業者

(b) 事業者アンケート

- ・ 乗合バス事業者 回答数：464
- ・ 乗合タクシー事業者 回答数：337

(2) ニーズに応じた車両に開発にあたっての課題

① 自動車メーカーの意見

② H20 年度以降の検討項目